

キャラクター名  
櫻田 淳也

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン ソラリス	ワークス	情報屋	カヴァー	記者
オプション	ブラックドッグ	年齢	26	性別	男
覚醒	渴望	衝動	加虐	初期侵食率	32 %
出自	平凡な家庭	経験	喪失	邂逅	ビジネス

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	1	0	0			1	行動値	4
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	4
精神	2	0	0			2	戦闘移動	9
社会	4	1	0			5	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	2	
運転:			芸術:			知識:			情報: 裏社会	3	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ: 裏社会	
情報収集チーム	
思い出の一品	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
生還者	P	N		
猫川 美亜	P 有為	N 猜疑心		
丸 未知花	P 慕情	N 悔悟		
"YW"	P 幸福感	N 劣等感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 10    残り財産P: 5

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
C:ソラリス	2	2	Xジャー					
効果:	C-Lv							
絶対の恐怖	4	3	Xジャー			<交渉>		
効果:	攻撃+Lv 装甲値無視							
神の御言葉	4	4	Xジャー			<交渉>		
効果:	攻撃+[Lv*5] シナリオ3回							
援護の風	4	2	オート					
効果:	判定D+Lv R1回							
ウィンドブレス	2	2	オート					
効果:	達成値+[Lv*3]							
マグネットフォース	1	2	オート					
効果:	カバーリングを行う							
限界突破	1	3	セットアップ				80%	
効果:	R制限を1回解放							
セキュリティカット	★	1						
効果:	ロックをめっちゃ解除							
コウモリの耳	★							
効果:	耳がめっちゃ良い							
軽功	★							
効果:	めっちゃ身軽							
竹馬の友	★							
効果:	めっちゃ友達になれる							
効果:								
効果:								
効果:								

イエロージャーナリストを目指す、フツの記者。あんまり気は強くない。口ではスクープだの金になる記事だの色々言っているものの、いざその時になると人の心を傷つける記事に躊躇するヘタレ。ただ、悪事の追及や自分の正義に殉じる記事は意地を持って追いかける、面倒くさいヤツ。意外と執念深い。

メガネ低身長半陰キャ。ツッコミ気質。厭世家気取りのヘタレメガネ。初対面の人には丁寧に接しているものの、ツッコミは激し目なのですぐには口が出る。追い詰められると段々思考がクリアになっていき、どんどん開き直っていく。そこに行くまで大変だけど。

相棒はYWと呼ばれる、AIインターフェース。スマホと手元のウォッチ双方のデバイスからアクセス可能。足りない頭をYWにサポートしてもらいつつ、小さな体でシャカシャカ逃げ回る。絶大な信頼をYWに寄せているが、それ以上の感情も上乗せして色々乗せていそう。アホ

ちょっとした過去の話  
生まれは大したことはない、フツの平凡な家庭。フツにガッコに通い、フツにちょっと受験勉強を頑張って、フツに友達を作って、フツにちょっといい会社に就職するハズだった。たまたま、就活前見たドラマでゴシップ記者に憧れて、ちょっとした出版社に就職した。それが、最初の失敗だった。

幼馴染の丸とは何だかんだいつも一緒に、振り回される日常に辟易するポーズをしながらも、同じ大学に進むために死ぬほど勉強を頑張ったり、付いて行くために同じ分野に挑戦して挫折したり、記者になって進歩を続ける彼女の取材が出来ないかなってちょっと夢想したり。自分が彼女にとって何でもない大した存在とはわかっていながらも、友情に隠した憧憬と、更に隠した慕情と劣等感と。全部がないまぜになりながらも、曖昧な